

令和7年度全国学力・学習状況調査 美幌町内の状況及び今後の改善方策

小学校数:3校、児童数:119人 中学校数:2校、生徒数:128人

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

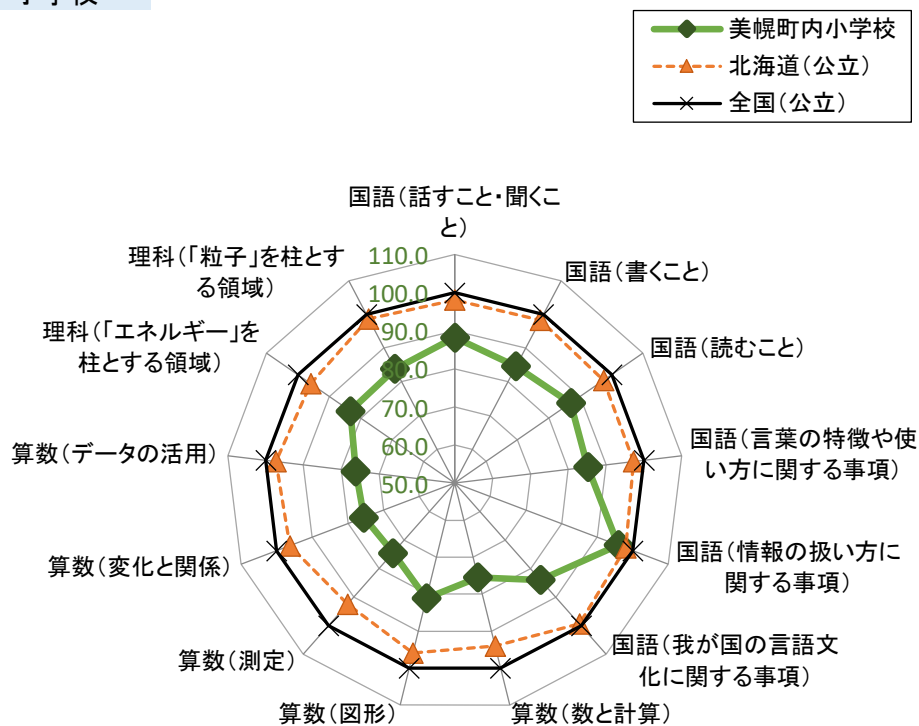
- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

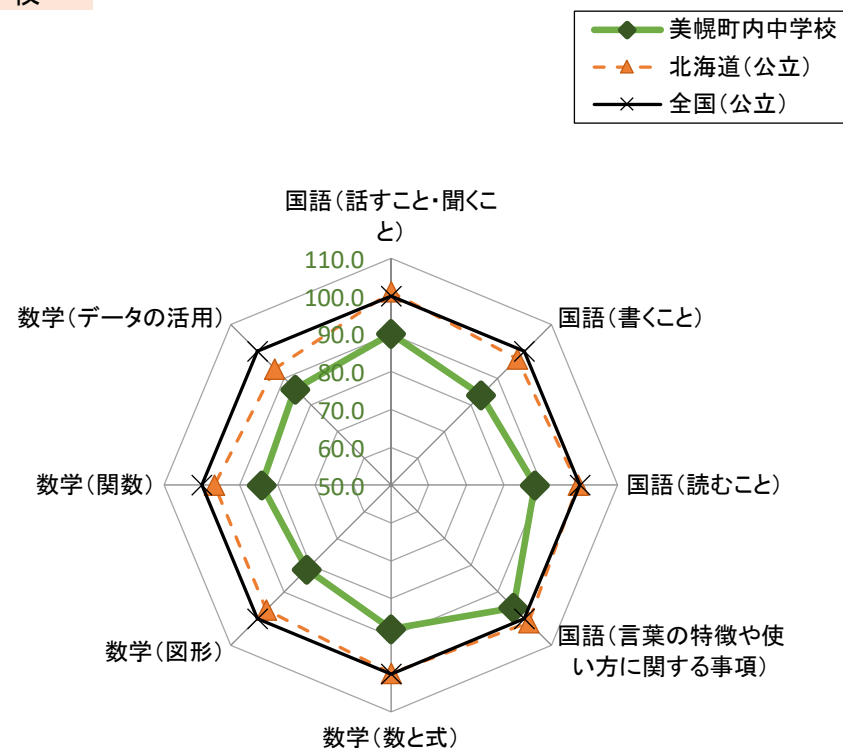
※中学校理科は平均IRTスコア

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
美幌町	58	45	49	48	41	493
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

小学校



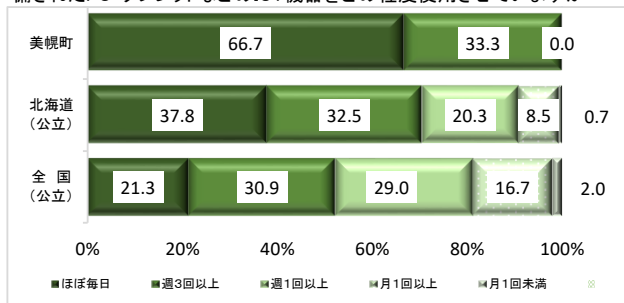
中学校



○ 質問調査の状況

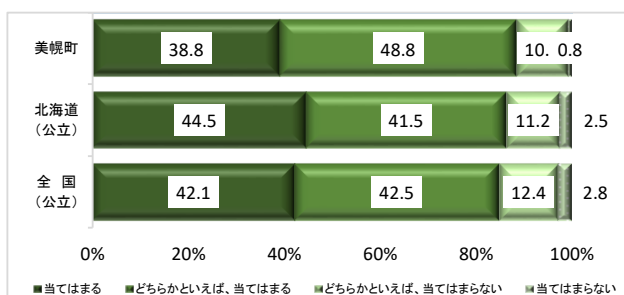
小学校 ＜学校質問＞

児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



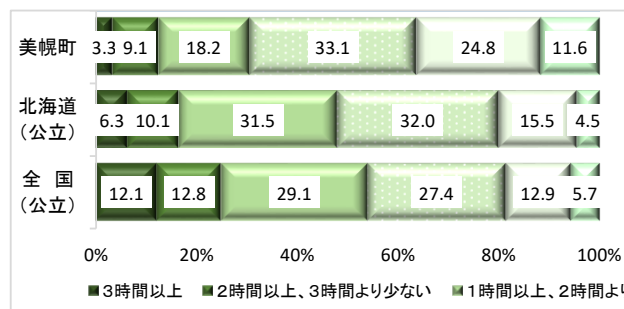
小学校 ＜児童質問＞

ICT機器活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる



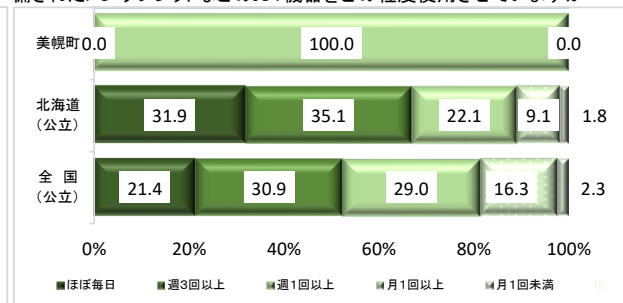
小学校 ＜児童生徒質問＞

学校の授業時間以外に一日当たりどれくらいの時間、勉強しますか



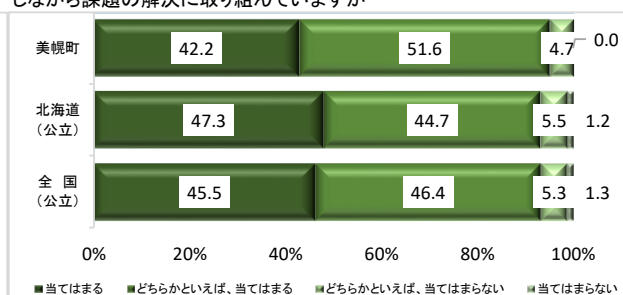
中学校 ＜学校質問＞

生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



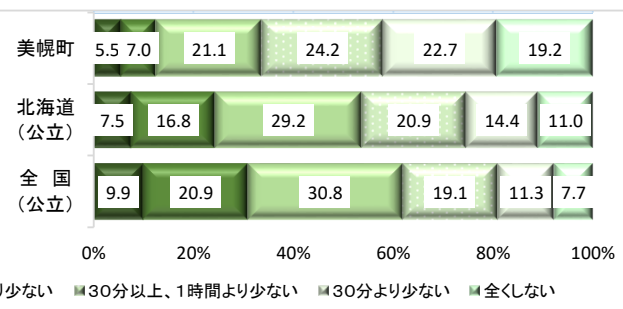
中学校 ＜生徒質問＞

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



中学校

学校の授業時間以外に一日当たりどれくらいの時間、勉強しますか



○ 調査結果の分析

- 小学校において、友達と考えを共有したり比べたりする場面で、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を積極的に使用したことにより、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

- 中学校において、生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を積極的に活用したことにより、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

- 学校の授業以外での小学校及び中学校の平均学習時間が全国及び全道を大きく下回っている状況は、学力低下の要因の一つとして考えられる。

○ 今後の改善方策

- 児童生徒の授業の理解度等に応じた指導方法の工夫改善を図ることによる児童生徒一人一人の資質・能力を確実に育成する取組の推進
- ICT端末を活用した学習支援ソフトによる家庭学習の習慣化を図る取組の推進
- 小学校及び中学校における確かな学力の向上に向けた学習サポート教員や専門スタッフの配置促進